

アフリカ大陸最南端の国、2010年ワールドカップ・サッカー開催国、南アフリカ共和国のブラッドリー・ブラウワー南アフリカ観光局日本地区代表らが、新任挨拶と南アフリカ観光促進について新町会長、梅田理事長らと会談

2007年4月9日

4月2日、[南アフリカ共和国](#) のブラッドリー・ブラウワー南アフリカ観光局 日本地区代表らと新町会長、梅田理事長、石山事務局長、米谷事務局次長らが約40分間、南アフリカへの観光促進について会談しました。



前列中央、  
ブラウワー新日本地区代表、  
近藤マーケティング・アシスタント、  
新町 JATA 会長  
後列右から  
米谷 JATA 理事・事務局次長、  
梅田 JATA 理事長、  
石山 JATA 理事・事務局長、  
稲葉 JATA 業務部  
アシスタント・マネジャー、  
片桐 JATA 国際業務室副部長

ブラウワー代表は、「ツーリズムに関与して25年になるが、今回初めての日本駐在で、着任後1週間になるが日本はとても住みやすい。日本からの観光客は2006年に約32,000名で前年に比べて17.2%増になり、3万人を初めて超えた。世界からの訪問者数も13.9%増で約840万人であった。2010年のFIFAワールド・カップ・サッカー開催年に向けてさらに観光客が多くなることを期待している。テーブルマウンテンのある美しい町ケープタウン、魅力あふれるサンシティ、元祖ブルー・トレインはじめ野生動物を身近に観察できるサファリなど多様なツーリズムを堪能できる。より多くの日本の皆さんに来てもらえるように日本での広報宣伝活動を積極的に進めていきたい。今年6月中旬に大阪と東京で旅行会社を対象に開催するワークショップで、2010年のワールド・カップ・サッカーのインフラ整備等の準備状況や南アフリカの魅力を提案する」と話しました。



会談風景

2007/04/02 訪問

新町会長は、「新たな南アフリカとなってからおよそ14年、日本からの旅行者にはますます魅力のある destination になってきた。テーブルマウンテンから眼下に広がるケープタウンの街並と喜望峰を望む景色が忘れられない。地中海性気候で比較的温暖であり、宿泊施設や観光インフラも整備されているので旅行しやすい。南アフリカ産ワインが美味しいことは日本でも有名である。以前よりも乗り継ぎ便が便利になっているが、直行便が就航すればさらに訪問者数は増加すると思う。6月に開催する最新現地情報を提供するワークショップが成功することを祈る」と話しました。

